

車輦に詳しくなろう

～この警告灯が点灯したら**危険**なサイン～





点灯の色で緊急性を理解

赤色 = 危険



黄色 = 注意



エンジン警告灯

エンジン又はトランスミッションシステムに
異常があると点灯

点灯する理由

- ・吸排気の異常
- ・点火の不具合 など

重大なトラブルにつながる可能性もある



水温警告灯(赤)

エンジンの冷却水(クーラント)が高い時に点灯

エンジンに深刻なダメージを与える

オーバーヒートの可能性がある



油圧警告灯

エンジンオイルの**圧力**に異常が発生すると点灯

(エンジンがかかっている状態)

そのまま走行するとエンジンが**破損**することもある

すぐに停車しエンジンオイル量の確認

エンジンオイル 少ない → 補充

多い → 車に下にオイルが漏れた形跡がないか確認



充電警告灯

バッテリー本体の他

充電系統(オルタネーターやベルトなど)に

異常が発生したときに点灯

点灯しているときは十分に充電していない恐れ

いつエンジンが停止するか分からない



まとめ

チェックポイント

- エンジン始動直後、すべての警告灯が点灯するのは正常！
- エンジン始動後、警告灯がすべて消えれば正常！
- 赤色＝危険、黄色＝注意、青色＝安全と覚えておく！
- 赤色なら安全かつ速やかに停車、黄色でも運転は避ける！
- 警告灯が点灯したら早めに整備・点検を行う！